

常盤中だより



学校教育目標

「心豊かな中学生」

「自ら学ぶ中学生」

「活力あふれる中学生」



【計画は今から】

校長 橋本 栄

学校ファームの池に蓮の花が咲き始めました。野菜やぶどうの手入れも生徒の手によって行われ、順調に成長しています。



過日、チャレンジスクールが始まりました。実行委員のボランティアによって運営され、卒業生や教育実習生の学習アドバイザーのもと、約30名の生徒が学習に取り組んでいました。静かな環境で意欲に燃えた者同士が黙々と勉強している姿は、本校の教育目標「自ら学ぶ中学生」といえましよう。

私は、学力向上に欠かせないものは三つあると思っています。一つ目は自分の心。心の中で「自分ができる」、「こんなもんじゃない」と言い続けること。二つ目は高い目標。「〇〇を完璧にする」、「資格をいつまでにとる」、「〇〇に合格する」など、そんなの無理だと言われるくらいの目標を持つこと。三つ目は、細かい計画。いつまでに何をどの程度やるか、綿密に計画を立てるということです。

期末テストが終わり、しばらくのんびりと言いたいところですが、夏休みまでの三週間は大切な期間です。40日間をいかに有意義に過ごすか、この時期に計画を立てることが重要です。部活を引退し目標を失って学習意欲が高まらない生徒は、まず計画づくりに着手すべきです。県大会や演奏会に向け部活動を続けている生徒には、勉強時間がない、疲れてしまうと言う人も多いはずで、こうした人は、よりしっかりした計画が求められます。

40日間のうち、すでに決まっている日程をうめ、宿題の終了期限を定め、苦手克服の集中期間を設け、漢字や計算など毎日少しずつやることを決め、全体計画を立てます。次に起床、就寝、勉強時間など一日のスケジュールを作りましょう。一日の勉強時間は、50分やって10分休みで6～8コマはとれるでしょう。予備の時間、勉強は全くやらず自由な日を設定することも必要です。難しいのは友人との時間調整ですが、誘われるままに計画性もなく遊ぶことはお互い避けたいものです。ゲーム等も自主規制できなければなりません。

やるべきことを決め、いつまでにどの程度達成するか、どのような方法で取り組みどのくらい時間をかけるのか、これはまさしく社会人の訓練とも言えます。ご家庭の計画は早めにお子さんに示してあげてください。規則正しい生活のリズムについては、しっかり声をかけてください。ほめるもしかるもタイミングよく。率先垂範、大人自身も計画をたて学び続ける姿勢を示したいものです。

